

令和7年7月24日

札幌市立澄川西小学校

# 全国学力・学習状況調査結果

4月に全国の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、札幌市教育委員会より市全体の調査結果の概要が発表されました。これを受けて、本校における「全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせします。この調査結果は6年生の結果ではありますが、他学年にも共通する学校全体の結果として捉え、今後の指導改善に生かしていきます。

なお、文部科学省からも連絡がありましたが、今回の調査結果は児童の学力の特定の部分であることを踏まえてご覧ください。

## 国 語

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

### 本 校 の 概 要

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」、  
「情報の使い方に関する事項」、  
「我が国の言語文化に関する事項」  
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」、  
「書くこと」、  
「読むこと」  
・全国平均を上回っている。

### 今回の調査における課題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。（「暑い日」…3年時に学習）
- 文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける。

### 改 善 の 方 向

- 学習した漢字を日常的に使う意識を高める（ノート、作文、日記等）。
- 説明文教材を中心に、図表や文章など複数の資料から必要な情報を読み取ったり、要旨をまとめたりする経験を重視する。（国語、総合的な学習の時間）

## 算 数

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

### 本 校 の 概 要

- 「数と計算」、「変化と関係」  
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「図形」、「測定」、「データの活用」  
・全国平均を上回っている。

### 今回の調査における課題

- 目的に応じて適切なグラフを選択して数量の増減を読み取る。（5年「割合とグラフ」）
- 分数の加法について、数や言葉を使って説明できる。また、数直線上の目盛りを読み取ることができる。（5年「分数の大きさ」とたし算、ひき算）

### 改 善 の 方 向

- グラフの読み方の定着化を図るとともに、他教科において実際に活用、判断する活動を大切にする。（社会、総合的な学習）
- 単純に計算処理ができることで終わらず、計算方法を説明する活動を大切に扱い、意味理解を深める。（授業展開）

## 理 科

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

| 本 校 の 概 要                                                                                                                                                                                        | 今回の調査における課題                                                                                                                                                              | 改 善 の 方 向                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| <p>□「エネルギー」を柱とする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</li> </ul> <p>□「粒子」、「生命」、「地球」を柱とする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均を上回っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き寄せられる物について理解している。(3年「電気の通り道」「じしゃくのせいしつ」)</li> <li>●乾電池のつなぎ方について、直列つなぎについて理解している。(4年「電流のはたらき」)</li> </ul> | <p>○実験、体験活動を通した学習指導を柱にしつつも、基礎知識の定着を図る場面を大切にする。(各単元におけるまとめ、学期末における復習の機会設定)</p> |

## 児童質問紙

学校や家庭での「学習」について

—全国平均との比較— 全国平均より肯定的な回答割合が高い質問 (抜粋)

- 普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
- ICT 機器を使って発表のスライドを作成することができますか。
- 「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」(昨年と同様)
- 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてください。

## 児童質問紙

学校や家庭での「生活」について

—全国平均との比較— 全国平均より肯定的な回答割合が高い質問 (抜粋)

- 「自分には、よいところがあると思いますか」(昨年と同様)
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」(昨年と同様)
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」(昨年と同様)

**学力調査**に関しては、全体傾向として**国語、算数、理科、全てにおいて良好な結果**となっており、一般的に無回答率が高くなる、記述式回答となる問題(国語の文章要約や自分の考えを述べる問題、算数の図・式・言葉で説明する問題)においても無回答率が低い傾向が見られます。しかし、国語においては、**漢字の書き取り**が昨年度と同様に課題となり、算数における分数、理科における磁石や乾電池のつなぎ方といった**基礎知識の定着不足**が明らかとなりました。改善の方策にも記載しましたが、当該学年だけでなく学校全体の問題として捉え、次年度に向けて指導に生かしてまいります。

**児童質問紙**に関しては、学習、生活、ともに全国平均よりも肯定的な回答割合が高い項目が非常に多くなっております。特に、**家庭での学習習慣や学校生活での満足感、自己有用感の項目で良好な結果**となっております。学級担任を中心とした、児童一人一人の特性を見極めた丁寧な指導と御家庭からの御理解御支援の賜物と受け止めております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。